



# ナシ特報

No. 1

令和5年3月1日  
J A中野市営農センター  
J A中野市ナシ部会

本年の生育は、例年より早まる見込みです。ただし、今後の気象によっては生育が前後する可能性もあります。

昨年は、春先の低温・授粉適期時の強風により授粉条件が悪い年でした。本年も結実確保に向け人工授粉は必ず実施して下さい。南水は満開後からは受粉能力が低下するため、開花を確認したらできるだけ早い段階で授粉を行って下さい（開花から3日目までが受粉能力が高い）。また剪定・花芽整理などの管理作業終了後、凍霜害対策の準備も併せてお願い致します。

開花予想：南水、ラ・フランスで4/20前後になる見込みです。

## ■ 南水発芽調査（調査地点：田麦沖）

年度	平年	R2	R3	R4	R5
発芽期	4/4	3/30	3/28	4/10	3/30頃

## 【西洋梨の休眠期防除は裏面をご覧ください】

## ■ 和梨 発芽前の散布（石灰硫黄合剤・キノンドーの2体系を記載しています。下記を読み、どちらかを選択してください。）

### ～キノンドー体系～

散布時期：発芽直前（3月中下旬）

散布薬剤： 水 98 ℓ  
 キノンドー顆粒水和剤 100 g  
 スプレーオイル 2 ℓ

対象病害虫：黒斑病、輪紋病、カイガラムシ類

散布量：10a 当り 300 ℓ

### ■ キノンドー顆粒水和剤体系注意事項

- ① 混用順：水→キノンドー顆粒水和剤→スプレーオイル
- ② キノンドー顆粒水和剤に代えてキノンドーフロアブル1000倍（3日前、9回）でもよい。
- ③ カイガラムシ類対策：散布前に金ブラシ等で削り落しを行う。
- ④ 胴枯対策：せん定の切り口（傷跡）には必ずトップジンMペーストを塗る。

散布日： 月 日  
 散布量 ℓ

### ～石灰硫黄合剤体系～

散布時期：発芽直前（3月中下旬）

散布薬剤： 水 88 ℓ  
 スプレーオイル 2 ℓ  
 石灰硫黄合剤 10 ℓ

対象病害虫：ハダニ類、カイガラムシ類

散布量：10a 当り 300 ℓ

### ■ 石灰硫黄合剤体系注意事項

- ① 混用順：水→スプレーオイル→石灰硫黄合剤
- ② カイガラムシ類対策：散布前に金ブラシ等で削り落しを行う。
- ③ 胴枯対策：せん定の切り口（傷跡）には必ずトップジンMペーストを塗る。
- ④ 注意：石灰硫黄合剤は隣接するハウスビニールには極力かからないようにする。

散布日： 月 日  
 散布量 ℓ



発芽期  
樹全体で結果枝の20～30%の花芽の膨らみが確認でき、葉色が緑色から黄緑色に変わります。

## ■ 和梨 発芽7日後の散布（りん片脱落直前）

散布時期：りん片脱落直前（4/7頃）

散布薬剤：水 100 ℓ  
 ic ボルドー48Q 3.3kg

対象病害虫：黒星病

散布量：10a 当り 300 ℓ

### ■ 注意事項

- ① 収穫中の作物への飛散に充分注意する。
- ② 散布時期が遅れた場合や散布直後に降雨があると薬害を生じることがあるので注意する。

散布日： 月 日  
 散布量 ℓ



りん片脱落期  
樹全体で結果枝の花芽のりん片が脱落し、葉色が黄緑色から黄褐色に変わります。

## 西洋梨

### ■ ラ・フランス発芽調査（調査地点：田麦沖）

年 度	平年	R2	R3	R4	R5
発 芽	4/4	3/30	3/28	4/11	3/29 頃

### ■ 西洋梨 発芽前の散布（トップジン・石灰硫黄合剤の2体系を記載しています。下記のいずれかを選択してください。）

#### ～トップジン体系～

1. 散布時期：発芽前（3月中下旬）
2. 散布薬剤：水 98 ㊞  
トップジンM水和剤 100 g  
スプレーオイル 2 ㊞
3. 対象病害虫：ハダニ類、カイガラムシ類  
腐らん病
4. 散布量：10a 当り 300 ㊞

#### ■ トップジンM水和剤体系注意事項

- ① 混用順：水→トップジン M 水和剤→スプレーオイル
- ② カイガラムシ類対策：散布前に金ブラシ等で削り落としを行う。

散布日： 月 日

散布量： ㊞

#### ～石灰硫黄合剤 体系～

1. 散布時期：発芽前（3月中下旬）
2. 散布薬剤：水 88 ㊞  
スプレーオイル 2 ㊞  
石灰硫黄合剤 10 ㊞
3. 対象病害虫：ハダニ類、カイガラムシ類  
腐らん病
4. 散布量：10a 当り 300 ㊞

#### ■ 石灰硫黄合剤体系注意事項

- ① 混用順：水→スプレーオイル→石灰硫黄合剤
- ② カイガラムシ類対策：散布前に金ブラシ等で削り落としを行う。
- ③ 注意：石灰硫黄合剤は隣接するハウスビニールには極力かからないようにする。

散布日： 月 日

散布量： ㊞

### ■ ナシ類 3月の重点管理作業

#### 1. 腐らん病・凍害対策

腐らん病が1月から発生確認。病斑を見つけ次第、削り取りや被害枝の除去を行って下さい。また、凍害（胴枯病・紫変色枝枯症他）防止のため、主幹部等にできた大きな切り口（直径5cm以上）には必ず癒合剤を塗布ください。3月の低温遭遇により凍害の発生が助長される傾向です。注意してください。

#### 2. 粗皮けずり

輪紋病の源となるいぼ皮や粗皮（リンゴハダニ等の住処）を削り取る等の耕種的防除を実施してください。輪紋病多発園では本格的な生育期に入る前の早い時期にいぼ皮削りを進めてください。

#### 3. 花芽整理（南水の芽すぐり）

南水では、貧弱（小さい、二次伸長）な花芽が散見されます。剪定作業と並行して、花芽整理を積極的に行い制限された花芽に養分を集中させる。1短果枝群につき2芽程度に整理し、芽の向きはなるべく外に広げるようにしてください。

#### 4. 枝の誘引

次年度の花芽形成促進や側枝の強樹勢化を防止するために、剪定作業と並行して誘引作業の必ず実施してください。樹が硬く折れやすい品種は、発芽期以降実施してください。

#### 5. 春先の苗木の植え付け ※注意

土壌が乾燥する春先の苗木植え付け時は、根と土が十分馴染むようにかん水してください。併せて、敷きワラマルチ等をするとその後の乾燥防止に役立ちます。また、支柱等を立てて風等による倒伏を予防してください。